

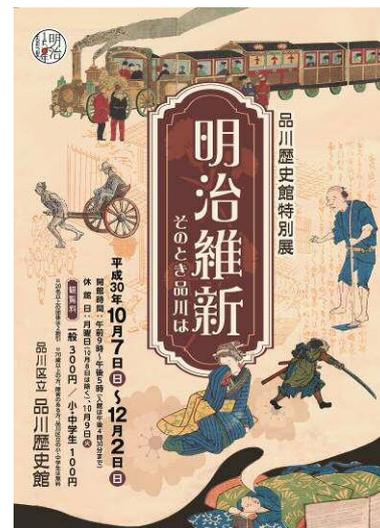
特別展 明治維新 —そのとき品川は—					
期間	平成30年10月7日(日)～12月2日(日) 49日間				
会場	1階ロビー 第二展示室 小講堂				
有料観覧者	一般 2,428	小中 77	一般団体 0	小中団体 0	有料計 2,505
無料観覧者	区関係 156	区内小中 411	招待 332	高齢者 1,259	無料計 2,158
					総計 4,663

### 〔開催趣旨〕

平成30年(2018)は明治改元から150年目の節目にあたることから、品川という地域から明治維新という変革を改めて見つめ直す展示を開催した。

江戸時代の品川は、東海道第一番目の宿場である品川宿が設置され、江戸の南側の出入口であったといえる。その立地性から、幕末には多くの浪人や外国人が行き交うようになり、事件も発生した。そうした中、物価の高騰などにより人々の生活は圧迫され、慶応2年5月には品川宿において打ちこわしが発生した。また、翌年12月の薩摩藩邸焼討事件の際には品川宿も放火の被害に遭い、明治期になっても復興の目途は立たないほどであった。

本展示では、こうした当該期の動乱に巻き込まれた地域社会の変動を、品川で暮らした人々の視点を軸にして取り上げた。



### 〔展示概要〕

プロローグ ペリー来航と品川

第一章 攘夷の動きと品川 (一) 外国公使館建設をめぐる (二) 事件の密談場所として

第二章 品川の人、動乱の渦中へ (一) 生麦事件と戦争の危機 (二) 増える負担、増える不満

第三章 明治の幕開け (一) 戊辰戦争と行き交う人々 (二) 品川県と品川駅

コラム一 品川に来た? 坂本龍馬

コラム二 尊王攘夷派を手助けしたある僧侶

〔記念イベント〕

イベント名	日時	講師	会場	参加人数
記念講演会「明治維新と品川」	10月14日(日) 14:00~16:00	落合 弘樹(明治大学文学部教授)	講堂	91名
まち歩き「打ちこわしの現場を歩く」	10月28日(日) 13:00~16:30	佐藤 友理(品川歴史館学芸員) 富川 武史(品川歴史館学芸員)	諏訪神社~常行寺~三岳神社(御嶽稲荷)~本覚寺~荏原神社~聖蹟公園(品川宿本陣跡)~御殿山公使館跡~土蔵相模跡	28名
お茶を楽しむ会	11月3日(土・祝) ①10:00~12:00 ②13:00~15:00	協力:品川区華道茶道文化協会	書院	120名
講演会「講談で楽しむ明治維新」 (演目:坂本龍馬、新選組)	11月11日(日) 14:30~15:30	神田 山緑(講談師、真打)	書院	45名
ワークショップ「ペーパークラフトで公使館をつくろう」	11月25日(日) ①10:00~12:00 ②14:00~16:00	田中 秀幸(ペーパージオラマ作家)	講堂	16名
学芸員によるフロアレクチャー	①10月7日(日) ②10月21日(日) ③11月3日(土・祝) ④11月17日(土) ⑤12月2日(日) 時間はいずれも 14:30~15:30	佐藤 友理(品川歴史館学芸員)	講堂	①22名 ②30名 ③40名 ④35名 ⑤54名 延べ181名

〔その他〕

特別展記念「抹茶マドレーヌ・ブラウニー」

(協力:社会福祉法人福栄会 福祉ショップ「シンフォニー」)

販売価格 200円 期間中売上 80個